

令和2年11月14日(土)

へみんなの作った俳句

◆☆

ながすぎてすこしのこしたちとせあめ
ふゆのひにじつとしてゐるけむしです

小一 すすがゆうしん

◆☆

かまきりのたまごくつつくはつばさん
さざんかのあまいかおりがひらひらと

小一 前蘭恵実

ねこじゃらしあかいふわふわなかのいろ
もみじのはちらちらとたのしそう

小一 わたなべあん

◆◇

小春日に日なたぼつこのゆめを見る
さざんかが池にうつてさかさまだ

小二 池田佳穂

◆◆

おちばふむガサガサ音が楽しいな
小春空自てん車のとて気もちいい

小二 北島実珠美

◆

足ぶみのかれはの音で楽しんだ
ねえちゃんひざしにむかってかいていた

小二 ねづうらら

◆◇

さざんかやあきいろのなかもとしろ
水面のかがみにうつる秋木の葉

小三 小林穂乃花

◆④

落葉ふみ足元で鳴る音楽だ
もみじ落ち池にうかんだ赤い船

小三 橋本明佳

◆③

風がふくよけいに寒いよ春になれ
シヤキシヤキと食べて味なしむかごです

小四 煤賀天晴

◇☆

朝寒しふとんにくるまり二度ねする
小春日やグランドでやるおにごっこ

小四 滝川晴迪

④③

大毛虫葉っぱにまぎれてかくれんぼ
くさぎの実かんざしにして町歩く

小五 石井萌栞

◆☆

小春空私にあたる軽い風
日向ぼこまぶたが下がりあくびする

小五 清田真生

◆◇③

芭蕉さん見守られてる冬の中
ひかげからひなたへ移る冬青天

小五 根津こころ

真っ赤つか恋でもしたのか赤もみじ
もみじ船水の上をゆらゆらと

小六 鈴木華羽芽

講師選

(☆) 阿部郁恵 選◆ 疋田文晴 選◇ 五六八我楽 選

※希望により作者の氏名の記載が無い場合があります。

